

ふくしま共創チーム



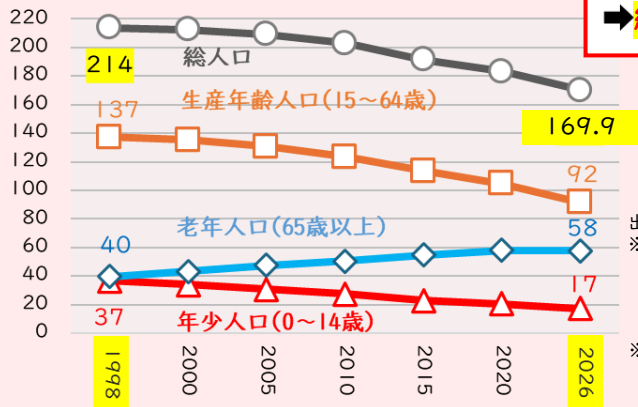
福島県

福島県の人口の現状

- 総人口：2026年6月現在で総人口が170万人を下回った。170万人を下回るのは戦後初めてであり、1940年10月以来約86年ぶりの人口水準となった。今後も年2.5万人程度の減少が見込まれる。
- 3階級別：全ての年齢階級で減少となる見込み。特に老年人口はこれまで増加傾向にあったが、減少傾向に転じている。
- 自然動態：2025年の出生数は過去最少（8千人を下回る）。死亡数は若干改善、婚姻数は若干減少。
- 社会動態：2025年の転出超過数は前年より悪化し2017年以来の7千人台。転入の動きの弱まりが見られ、若年層の転出超過傾向は継続。

総人口

1998年ピーク時
約214万人 → 2026年6月1日現在
1,699,510人
(前年同期比 ▲24,105人)



→総人口が170万人を下回った（戦後初）。

人口ピーク時と比較

総人口は約44万人減
(ピーク時の約8割)

老年人口は約1.5倍

生産年齢は約2/3

年少人口は半減

出典：総務省「国勢調査」
※1998年・2026年は
福島県統計課
「福島県の推計人口
(福島県現住人口調査)」
※1998年は1月(人口ピーク)、
2026年は6月(最新値)、
それ以外は10月1日現在

老年人口

2026年6月1日現在
577,432人
(前年同期比 ▲14人)

【減少傾向】

生産年齢人口

2026年6月1日現在
915,599人
(前年同期比 ▲17,569人)

【例年並の減少】

年少人口

2026年6月1日現在
172,545人
(前年同期比 ▲6,522人)

【例年並の減少】

自然動態

2025年1～12月(概数)
▲19,336人
(前年同期比 ▲214人)

→前年より悪化

(全国ワースト14位)

出生数

2025年1～12月(概数)
7,842人
(前年同期比 ▲374人)

【過去最少】

死亡数

2025年1～12月(概数)
27,178人
(前年同期比 ▲160人)

【若干改善】

(参考) 婚姻数

2025年1～12月(概数)
5,484件
(前年同期比 ▲11件)

【若干減少】

→出生数減少は全国的な趨勢(一部では増)。本県では過去最少の出生数を更新。死亡数は前年同期比で前年並。

社会動態

2025年1～12月
▲7,197人
(前年同期比 ▲514人)

→前年より悪化

(全国ワースト2位)

転入者数

2025年1～12月
22,788人
(前年同期比 ▲718人)

【前年より減少】

転出者数

2025年1～12月
29,985人
(前年同期比 ▲204人)

【若干改善】

→転入の動きの弱まりが社会動態へのマイナス影響を示唆。また、若年層の転出超過傾向は継続。

福島県では、人口減少の危機的な状況に対し、県内の産官学金労言士が一丸となり、「オール福島」で対応していくため、人口減少への危機感を共有しながら、共に考え、共に行動するための連携基盤として「ふくしま共創チーム」を設立し、あらゆる主体の皆さんと持続可能な県づくりを進めています。

ふくしま共創チーム

2026年7月1日現在 724団体

全体会



○企業・団体、マスコミ、金融機関、市町村、教育機関などで構成

- ・人口減少対策の優良な取組等の情報共有
- ・共創チーム活動補助金の事例共有
- ・ふくしまプライド調査部の活動報告等

共有・行動

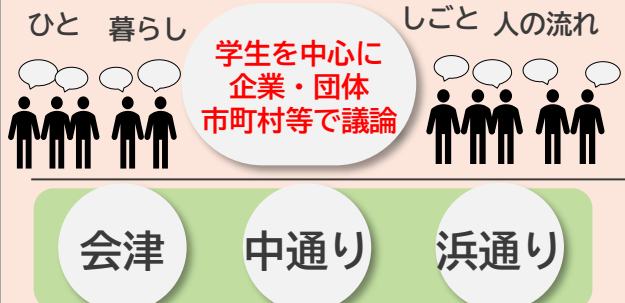
会員

活動報告や事例発表等により、気づきを波及させ
それぞれの立場での行動変容を促す

気づきを共有

○県内大学生等が中心になり、各地域の企業・団体、市町村等と3地域で調査部を構成

- ・「輝く企業・地域調査」や「連携・共創ミーティング」の活動を通じて、ふくしまの宝を発見
- ・連携・共創して人口減少対策に取り組む重要な視点を学ぶ



オール福島

で持続可能な豊かなふくしまを目指す！

会員になるとこんなメリットがあります

- 会員になると…
自治体の有益な情報や他企業の取組情報がメールマガジンで届きます
▶ 県の支援制度・イベント情報や企業の取組情報がタイムリーに入手できます
- ふくしまプライド調査部に参加すると…
学生や若手との交流や他企業との交流が生まれます
▶ 異業種企業とのネットワーク形成や新たな連携のきっかけになります。
- 学生などの企業訪問を受け入れると…
自社の魅力を直接PRすることができます
▶ ふくしまプライド調査部では、県内大学生等が企業を訪問し、企業の取組等を調査します。
- 人口減少対策の活動をする…
活動を支援する補助金制度もあります
▶ 令和8年度は、学校法人や企業、各種団体など多様な主体による8事業を採択しました。

メールマガジンの一例

1. テーマ『男女共同参画』
1 【20●●年度ワークライフバランス男女共同参画大賞】
●●●●株式会社の取組紹介
自分事として、できることから【とも家事ふくしま】
2 自分事として、できることから【とも家事ふくしま】
2. 地域の取組紹介コーナー『地方振興局だより』
3 【県北地方振興局】働き方改革

・
・
・



R7年度ふくしま共創チーム キックオフミーティングの様子



R7年度企業訪問活動時の様子

会員登録・年会費は「無料」です。

ふくしま共創チームへの加入について

ふくしま共創チームでは、福島県の人口減少に対して、

共に考え、共に行動する様々な企業・団体を募っています。

※母体の「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」への加入申込により、分科会である「ふくしま共創チーム」へも同時に加入することができます。

(様式第1号)

令和 年 月 日

ふくしまSDGs推進プラットフォーム会員登録申込書

二次元コードからも申し込み可能です→



1 申込者の情報	
申込者名称 (企業・団体・大学名等)	
所在地	
代表者	職・氏名
担当者	職・氏名
	電話番号
	メールアドレス
団体区分をプルダウンで選択ください	
当プラットフォームでは、本県の急激な人口減少に対応するため、分科会として「ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム」を設置しています。人口減少対策は、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの取組と趣旨が一致することから、全ての会員のみなさまに参加をお願いしております。 「ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム」への参加を希望しない場合は、チェックをプルダウンで選んでください。	

2 SDGs17のゴールのうち注力する分野					
目指すゴールに ◎または○を 付けてください。 ※主要ゴール◎ 【1つ】 ※関連ゴール○ 【複数可】	1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 健康と長寿を促す	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう
	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と地域暮らしの 持続可能な未来を つくろう	10 人や国を超えて 公正で包摂的な社会を つくろう	11 住み続けられる まちづくりを
	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を増やす	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すすめていこう	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
3 取り組み・活動の概要(予定を含む)					
4 他の会員と連携可能な自社の強み【任意入力事項】					
5 他の会員と連携して取り組みたい課題【任意入力事項】					

※ふくしま共創チーム
の現会員名簿や活動の
様子はコチラから↓

